



緑内障は、何らかの原因で視神経に障害が起き、見える範囲(視野)が狭くなる病気です。日本では大規模な調査で、四十歳以上では二十人に一人の割合で緑内障の患者さんがいることが分かりました。

病気の原因の一つが眼圧の上昇です。目の中は血液の代わりに栄養などを運ぶ「房水」という液体が作られ、排出され

## ⑥0 緑内障(眼科)



目の表面に空気を当てて眼圧を検査する機械。名古屋市中区の中日病院で

初期は、視野が欠けていても自覚症状はほとんどありません。緑内障は進行すると、日常生活にも支障を来し、失明に至る場合もあります。

視野が欠けた部分は戻ることはありませんが、目薬で眼圧をコントロールすることで進行を抑えます。点眼治療でも進行・談)

 中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。 中日病院 052(961)2491

が止まらない場合は、レーザー治療や手術も選択となります。緑内障は失明を予防するためにも早期に発見し、早期に治療することが大切です。

人間ドックで見つかることが多いため、定期的な検診をおすすめします。(小林加寿子眼科副部長

# 眼圧高まり、視神経に障害